

児童向け学校評価アンケートの結果について

副校長 廣野 寛子

2学期末に、保護者向けの学校評価アンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。同様に児童にもアンケートを取りましたので、その結果をお知らせします。

8割以上の児童が肯定的な評価をしている質問2、5、6については、自分で学習を進めたり課題を決めたりして友達と話し合いながら学んでいく「自己調整学習」には、本校が特に力を入れているところで効果が出ています。10では主に養護教諭や学校栄養士の指導、14では避難訓練や毎月の安全指導の結果です。肯定的な回答が少なかった質問12の地域行事への参加と13の学校と地域との協力については、学年が上がるごとに顕著に少なくなっていくので、高学年では習い事や塾に通うようになり、時間が取れなくなってきたと思われます。全ての学年で学校支援本部やファミリー会、PTAの協力を得て、地域からのゲストティーチャーを学校にお呼びして授業を行っています。内容が児童のニーズと合っていないことも考えられるので、教員側の毎回の振り返りと次年度への引き継ぎが必要であると考えます。また、3では個別に分からないところを教えてほしいというニーズの多い学年もあるので、教員が配慮していくようにしたいと思います。

令和6年度高井戸小「教育調査」児童結果 肯定的回答（とてもそう思う・そう思うの割合）2～6年生																
No.	質 問	2年	3年	4年	5年	6年	全体	No.	質 問	2年	3年	4年	5年	6年	全体	
1	先生は、クラスのみんなが分かり合 い、協力し合えるようにしてくれてい る。	63	95	80	73	82	78	8	先生は、今の授業で学習していること が、前の授業や今後の授業とどのよう につながっているか、教えてくれている。			78	75	78	77	
2	授業では、学習を進める方法やペース を、自分で決めながら学んでいる。			81	76	94	84	9	道徳の時間では、友達や家族、地域の人 たち共によりよく生きることの大切 さについて、みんなで話し合っている。			77	65	73	71	
3	授業では、自分の得意なところを伸ば したり、苦手なところを少なくしたり できるように、個別に教えてくれている。	80	93	59	44	61	67	10	先生は、健康な生活を送るために必要 なことを教えてくれている。	95	100	86	78	83	88	
4	授業では、自分の興味に基づいて問い や課題を立てて学んでいる。	54	51	68	65	89	65	11	学校や家などで、一か月間に本、新聞、 雑誌、調べものをするための資料 などを読んだ。	49	89	60	48	54	60	
5	授業では、自分が必要な時に、必要な 仲間と協力しながら学んでいる。			84	80	89	84	12	地域の行事に参加している。	70	70	42	35	16	47	
6	学校の授業によって、分かることやで きることが増えている。	87	92	82	77	87	85	13	先生は、地域の人たちと協力しながら、 授業や学校行事をよりよくしてく れている。			64	40	44	49	
7	先生は、授業で自分ができたことを誉 めてくれたり、間違えたところを教え てくれたりしている。			76	71	78	75	14	学校では、地震や火事など、様々な危 険を予測し、避けるための知識や考 え方について学んでいる。	89	100	91	75	89	89	

2月の生活目標『姿勢をよくして 生活しよう』

生活指導部 二瓶 真知子

寒さがピークを迎え、日に日に厳しくなっています。しかし、「子どもは風の子」という言葉の通り、休み時間には、校庭で元気に遊ぶ子どもたちの声が聞こえてきます。その一方、校舎内でも上着を脱がずに過ごしていたり、寒そうに背中を丸くして学習していたりする子を見かけることがあります。中に着ている衣服で調節できるよう、ご家庭でもお声掛けをお願いします。また、背筋を伸ばす、骨盤を立てて座る、など正しい姿勢を続けると骨格や筋肉が強くなり、丈夫になるという良い面があります。成長途中の児童にとっては、とても大切な事です。

2月4日は「立春」。暦の上では春を迎えます。重いコートを脱いで、姿勢をととのえながら元気にすごしましょう。

